

令和4年度赤江まつばら支援学校 学校関係者評価

学校評議員回答:4名

| 評価指標 | A | B | C | D | E |
|--|---|---|---|---|---|
| 1 ICT(情報通信技術)を重視した教育:学びを実感する教育の充実 | | | | | |
| ① 幼児児童生徒の「強み」を活かし、つきたい力を明確にした授業を行っている。 | | 3 | | | 1 |
| ② 幼児児童生徒の学びを深め、主体性を引き出せるようICTを活用した授業実践を行っている。 | | 3 | | | 1 |
| ③ 「できた」「分かった」を感じることでできる授業の工夫改善を行い、学習活動の充実を図っている。 | | 2 | | | 2 |
| 2 Career(キャリア)を重視した教育:成長を実感する教育の充実 | | | | | |
| ④ 幼児児童生徒の実態把握を丁寧に行い、将来の自立に向けた教育を行っている | | 3 | | | 1 |
| ⑤ 幼児児童生徒の発達の段階や生活年齢に応じた目標設定を行い、自己肯定感を高め、挑戦する力を育てる教育を進めている。 | | 3 | | | 1 |
| ⑥ 進路等に関する情報の提供に努め、幼稚部から高等部までのつながりを意識したキャリア教育の充実を図っている。 | | 1 | | | 3 |
| 3 Personality(個性、人間性)を重視した教育:さらなる人権教育の充実 | | | | | |
| ⑦ 幼児児童生徒ひとりひとりのよさや強み、成長の価値を捉えることができるよう、教職員の感性を磨くことができている。 | | 1 | | | 3 |
| ⑧ 教職員が幼児児童生徒のモデルとなるよう、多様性を認め、個を活かした学級運営や学部運営に努めている。 | | 2 | | | 2 |
| ⑨ 会議等では、建設的な意見を出し合い、お互いに高め合える教職員集団をつくるよう取り組んでいる。 | | 3 | | | 1 |
| ⑩ 人権教育に係る研修等を行い、人権教育に関しての情報を家庭と共有し、幼児児童生徒の社会的スキルを高めている。 | 1 | 2 | | | 1 |

■評価基準■

【A】よく当てはまる 【B】当てはまる 【C】あまり当てはまらない 【D】全く当てはまらない 【E】分からない